

令和2年度

兵庫県内社会福祉法人連絡協議会

# ＼ほっとかへんネット＼

取り組みデータ集







# 「取り組みデータ集の 発行にあたって」

兵庫県社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会

代表 澤村 安由里

兵庫県内には、現在、社会福祉法人が連携して地域課題に取り組む「社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット〇〇）」が、県下 49 市区町のうち 35 か所で設立・活動しています。これは平成 28 年の社会福祉法の改正に伴い責務化された「地域における公益的な取組」に、複数法人が連携して取組む目的で設立されています。

兵庫県は日本の縮図と言われるように、都市部である神戸市、海に囲まれ温暖な淡路島から、スキー場を有する但馬等々、多様な地域があります。自ずとその地域によって、地域課題も変わってきます。それぞれの地域でそのニーズに対応することを目指し、オール兵庫で県下統一した取組みをするのではなく、地域ごとのニーズにきめ細やかに取組めるように市区町ごとの「ほっとかへんネット」の設立・活動をサポートして参りました。

設立前は、同じ社会福祉法人であっても、種別を超えての交流や協働をする機会は少なく、また、地域福祉は社会福祉協議会の担当、各種別の制度福祉事業は社会福祉法人の担当のような区別があったように思います。「ほっとかへんネット」で法人連携することによって、種別を超えての連携が生まれ、社会福祉協議会と連携して地域福祉課題への取組がはじまっています。

設立に際し、行政との情報交換を重ね、設立後も定期的に、地域課題の共有や要望、実践可能なことなどの擦り合わせ等を行うことによって、施策提言もこれまでの一法人や種別団体で行うより、よりスムーズになっています。

社会福祉法人は災害支援や子供の貧困、社会的孤立等々の地域課題に何か役に立ちたいという福祉マインドはどの法人もみな持っていますが、地域に対する取組のノウハウはまだ未熟だと思います。地域共生社会の実現のために先に設立した「ほっとかへんネット」の取組やノウハウ等を情報共有し、伴走支援型ネットワークとして、地域に無くてはならない「ほっとかへんネット」に成長できるよう協力していきましょう。その一助として、この冊子がお役に立てれば嬉しく思います。

# 兵庫県社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) とは

平成 12 年の社会福祉基礎構造改革において、社会福祉法人の存在意義が改めて問われる中、兵庫県社会福祉法人経営者協議会（以下「経営協」）では、平成 17 年度から社会福祉法人の社会貢献活動を奨励する取組みを行ってきました。

平成 24 年度には「地域福祉推進会議」を設置し、県内の社会福祉法人を対象に、活動の実態調査や、実践についてのヒアリングを実施しました。そこで、先駆的な法人に共通する特徴のひとつとして「法人として地域住民を対象にした相談窓口を開設」していることが明らかになるとともに、それらの法人は、地域から寄せられたニーズに積極的に対応し、地域からのニーズ解決に向けた事業化を行い、地域住民と懇談会等でニーズを定期的に把握していることが分かりました。

平成 26 年度から、兵庫県において、「地域住民の生活上の相談ごとを総合的に受けられる相談窓口の開設」、「市区町内の社会福祉法人による連絡協議会の組織化」を全県的に進めていくこととし、まずはモデル地域で取り組むこととしました。法人制度改革を控え、社会福祉法人の責務として「地域における公益的な取組」や、地域ニーズを把握する仕組みとして「地域協議会」の設置が検討されている中、これらを見据えた対応として進めていきました。

平成 28 年度からは、経営協と県社協の協働事業として、「地域福祉推進委員会」を設置し、各市区町における社会福祉法人連絡協議会の設立を進めてきました。県社協では、中期計画である「2020 年計画」での重点的取組みとして、社会福祉法人の地域公益活動の推進を掲げており、設立に向けた助成事業やセミナー等を実施しています。

社会福祉法人にとって、地域の住民や団体とのネットワークを有し、地域の生活・福祉課題を把握し、つなぎ、調整する役割を果たしている社協と連携すること、社協としても多様な社会資源を有する社会福祉法人と連携することは、これからの地域福祉を推進する上で意義があるため、経営協から会員法人、県社協から各市区町社協に対しそれぞれ設立の必要性を働きかけ、県内すべての市区町での設立を目指しています。

## ◆社会福祉法人連絡協議会設立状況（令和 2 年 12 月 1 日時点）

年度	設立市区町	
～平成 26 年度	伊丹市、南あわじ市、神戸市垂水区	3
平成 27 年度	丹波市、佐用町、丹波篠山市、神戸市東灘区、神戸市兵庫区、神戸市西区	6
平成 28 年度	宝塚市、神戸市灘区、神戸市長田区、神戸市須磨区	4
平成 29 年度	神戸市北区、明石市、小野市、三田市、加西市、神戸市中央区	6
平成 30 年度	加東市、たつの市、川西市、豊岡市、赤穂市、西脇市、尼崎市、新温泉町	8
令和元年度	西宮市、加古川市、高砂市、宍粟市	4
令和 2 年度 12 月末時点	姫路市、播磨町、上郡町、相生市	4
	計	35

## ～兵庫県社会福祉法人連絡協議会の情報発信について～

令和元年度に、兵庫県社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット）のロゴマークを決定しました



「ほっとかへんネット」には、困っている人を決して見過ごさないという思いが込められています。その思いを表現した「ほっとか騎士（ほっとかナイト）」は兵庫県の形をデザイン化したロゴマークです。

ホームページを通じた情報発信に力を入れています

各市区町社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット）の最新情報を見ることができます。

■ URL <https://www.hyogo-wel.or.jp/public/hottokahennet.php>

■スマートフォンからもアクセスできます



# 目次

## ❶ 県内の主なほっとかへんネットの取り組み 機関紙「ひょうごの福祉」より抜粋

ブロック	市区町名(掲載年月)	ページ番号
淡路	南あわじ市(2020年12月掲載)	1
丹波	丹波市(2020年4月掲載)	2
東播磨	明石市(2020年2月掲載)	3
	小野市(2019年10月掲載)	4
	加西市(2019年9月掲載)	5
神戸	垂水区(2019年8月掲載)	6
阪神	伊丹市(2016年6月掲載)	7

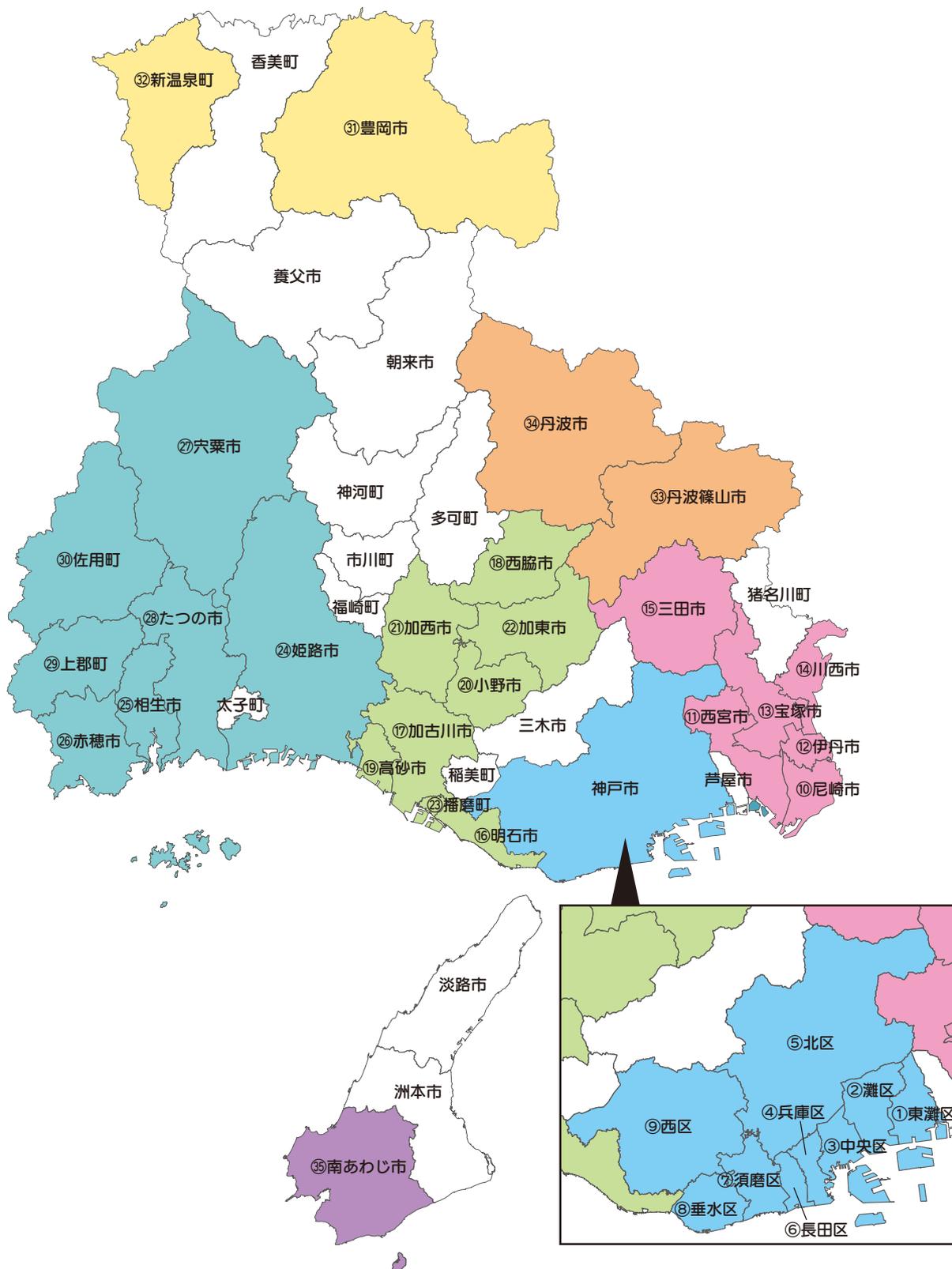
## ❷ 各市区町の取り組みデータ

ブロック	市区町名	ページ番号	ブロック	市区町名	ページ番号
神戸	① 東灘区	9	東播磨	⑩ 明石市	39
	② 灘区	11		⑪ 加古川市	41
	③ 中央区	13		⑫ 西脇市	43
	④ 兵庫区	15		⑬ 高砂市	45
	⑤ 北区	17		⑭ 小野市	47
	⑥ 長田区	19		⑮ 加西市	49
	⑦ 須磨区	21		⑯ 加東市	51
	⑧ 垂水区	23		⑰ 播磨町	53
	⑨ 西区	25		西播磨	⑱ 姫路市
阪神	⑩ 尼崎市	27	⑲ 相生市		57
	⑪ 西宮市	29	⑳ 赤穂市		59
	⑫ 伊丹市	31	㉑ 穴栗市		61
	⑬ 宝塚市	33	㉒ たつの市		63
	⑭ 川西市	35	㉓ 上郡町		65
	⑮ 三田市	37	㉔ 佐用町		67
但馬			㉕ 豊岡市		69
			㉖ 新温泉町		71
丹波			㉗ 丹波篠山市		73
			㉘ 丹波市	75	
淡路			㉙ 南あわじ市	77	

# 兵庫県内社会福祉法人連絡協議会 設置状況

(R2.12.1 時点 兵庫県社調べ)

※網掛で番号を付しているのが設置されている市区町です。





県内の主な  
ほっとかへんネットの  
取り組み

～機関紙「ひょうごの福祉」より抜粋～

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

# キラリ★社会福祉法人

南あわじ市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット南あわじ)

手に取ってもらえるように!  
とこだわったパンフレット

## 社会福祉法人間の交流から 地域のニーズに応えるネットワークへ

南あわじ市では、市内全11の社会福祉法人が連携し、平成26年9月に「ほっとかへんネット南あわじ」を設立した。各法人がつながり、制度の狭間にいる人や支援が届かない人に何ができるかを念頭に活動を進めている。今回は、取り組みの推進体制とともに、コロナ禍で生かされたネットワークに焦点を当てて紹介する。



### 職員レベルの交流で、 法人全体の取り組み体制づくりへ

設立当初は、法人の代表者が集まる推進会議(代表者会議)を中心に活動を進めてきた。しかし、「法人全体で活動するには、実践の核となる職員の集まりも必要だ」という声が高まり、平成29年度に実務担当者会議が設置された。

実務担当者会議では、日頃から感じている地域の課題について、①災害時における仕組みづくり、②生活困窮者などへの相談と支援、③施設を活用した子どもなどへの支援、④広報活動と周知に整理し、4グループに分かれて活動を始めた。2カ月に1回の会議では各グループで協議を深め、企画内容を推進会議に報告しながら実践に移している。

企画されたプログラムには、担当者以外の職員も積極的に参加しており、例えば、特別養護老人ホームで開かれる子ども食堂では、その施設の介護職員のほかに、他法人の保育士なども参加する。所属する法人や職種の違いを越えて、地域に役立つ活動に一緒に取り組む貴重な機会となっている。



子ども食堂「ほっとねっと食堂」は、食後もゲームやおしゃべりで大盛り上がり

ぬうのとくえ  
ボランティア「縫野得枝さん」のお手製マスクを、ほっとかへんネットが窓口になって配付

### 危機を乗り越え、好循環を生み出すネットワーク

今回のコロナ禍では、物資や情報不足などによって、各法人のサービス提供にもさまざまな困難が伴ったが、法人間のネットワークで危機を乗り越えた。下囲みはその一例である。

#### 調整窓口

市内のボランティアが作成した布マスクを、ほっとかへんネットが調整窓口となり、不足が深刻な福祉施設・事業所に配布した。

#### 新たなネットワークの創出

訪問介護を担う事業所で、社会福祉法人以外にも含め新たなネットワークを立ち上げた。ほっとかへんネットのメンバー以外の事業所とも国の通知などの情報を共有し、市内をあげてコロナ対応に取り組んだ。

上記のほか、普段の対応として、災害に備蓄する食材の手配や、困窮した方に当面の生活物資を提供する準備にも取り組むなど、いつでも地域のニーズに対応できる体制の構築を進めている。

「このようなときだからこそ、職員は課題意識を持って社会福祉法人に何ができるかを考えている。単独では難しくても、複数の法人が力を合わせるからできることがある。新たに作成したパンフレットでネットワークの取り組みを周知しながら、今後もつながりを生かした活動を進めたい」と、ほっとかへんネット南あわじの代表で、(福)淡路島福祉会本部長の岡本和浩さんは、今後の展望を力強く語った。

ほっとかへんネット南あわじ

事務局: 社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会

TEL: 0794-44-3007

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

## キラリ★社会福祉法人

丹波市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット丹波)

### ネットワークで進める「福祉人材確保」と「よろずおせっかい相談所」

「ほっとかへんネット丹波」は、平成27年9月に設立され、市内全ての社会福祉法人(18法人)が参画している。

今回は、高校生や移住希望者などを対象とした人材確保の取り組みや、よろずおせっかい相談所について紹介する。

目立つ色を使ったタスキやノボリで「ほっとかへんネット丹波」をPR



#### 福祉人材の不足は地域の課題

同市では、ネットワークの設立以来、社会福祉法人が連携して何ができるのか、行政も含めて協議を重ねた。そんな中、全法人の課題として挙げられたのが、「福祉人材の不足への対応」であった。人材不足で安定したサービスが実施できなくなると、住民ニーズに応えられず、若年者の流出で人口減少傾向にある地域に悪影響を及ぼす。そんな危機感が法人間で共有された。

そこで、市外からの転入を促すため、学生を対象とした「奨学金返済支援補助金」、介護福祉士や保育士などの女性有資格者を対象とした「女性有資格者人材バンク」「有資格者家賃補助制度」といった仕組みを、法人が連携して行政に提言し、制度化に結び付けた。また、市内の高校生を対象とした施設見学やショッピングモールでの就職フェア、移住希望者向けの施設見学ツアーも実施している。

社会福祉法人が連携したこれらの取り組みは、生まれ育った土地での就労の後押しとなり、丹波へのUターンや移住を希望する人には安心できる雇用の提供にもなっている。福祉人材の確保という課題への取り組みは、地域の活性化にもつながっている。

#### 安心して住み続けられる地域を目指して

協議をきっかけに始められたもう一つの取り組みが「よろずおせっかい相談所」だ。全ての社会福祉法人が事業所に看板を掲げ、いつでも住民が相談できる環境を整えている。「住民の『困った』という声を受け止める窓口でありたい。看板を掲げ続け、身近な所に窓口があると安心してもらえることが大事」と、澤村安由里代表(社会福祉法人山路福祉会)は話す。

さらに、昨年度は、社会福祉法人や行政、社協の職員を交えた「地域づくり懇談会」を開催し、日頃感じている地域の課題について検討したり、補助金を活用した広報ツールを用いて市内のイベントで「ほっとかへんネット丹波」のPRに取り組んだ。これらを通して、各法人の代表者同士で、顔の見える関係が構築されてきたため、今後は、職員などの実務者同士の関係づくりに力を入れる予定だ。

「地域の課題解決に向けて、社協や社会福祉法人、行政などが連携して取り組むことで、安心して住み続けられる地域づくりを共に目指したい。異なる法人の職員が一堂に会する機会を増やし、そのような意識をみんなで共有して取り組んでいきたい」と、澤村代表は、今後の意気込みを語った。



懇談会では「移動手段」や「つながりの希薄化」などの課題が出されました

ほっとかへんネット丹波  
事務局：社会福祉法人丹波市社会福祉協議会  
TEL：0795-82-4631

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

## キラリ★社会福祉法人

明石市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネットあかし)

施設職員が運転する小型電気自動車。住民にも好評だ

### 小型電動カートによる地域住民の移動支援

「ほっとかへんネットあかし」は、平成29年5月に設立され、明石市内28の社会福祉法人が連携して地域福祉の推進を図っている。

今回は、急な坂道や狭い道路がある地域の高齢者らの移動支援のため、市との協働による小型電気自動車「グリーンスローモビリティ※」の実証調査の取り組みを中心に紹介する。※時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の小型電気自動車



#### 行政との協働による新たな移動支援

明石市東部の東朝霧丘と朝霧山手町周辺は、道路が狭くコミュニティバスの巡回が難しい地域で、高齢化も進んでいる。両地域の高齢化率は、それぞれ32%、38%に達し、急な坂道もあることから高齢者らの移動支援が求められていた。

このような中、市は国土交通省の支援を受け、令和元年10月30日から11月22日までの間、誰でも無料で利用できる小型電気自動車「グリーンスローモビリティ」の実証調査を開始。最寄りのバス停やスーパー、公園などを結ぶ2つのルートを実行するにあたり、ほっとかへんネットあかしに運行管理と運転手の派遣について協力依頼があった。

これを受けて、ほっとかへんネットあかしは、地域公益活動の一環として協力することを決め、構成法人である明石恵泉福祉会の介護職員らを運転手として派遣した。期間中は、月曜日から土曜日(祝日を除く)の毎日2ルート、10時～15時台の計5便に無償で対応し、住民からは大好評を得た。

#### 住民の声を聴き、公益活動を展開する

この移動支援の実証調査では、高齢者や乳幼児を抱える親子ら延べ360人が利用した。利用目的は、買い物約7割と高く、最寄りのバス停への移動も2割を超えるなど、住民のニーズに応える取り組みとなった。また、運転手を務めた介護職員は「住民の方と接する中で、改めて地域に目を向ける良い機会となった」と振り返る。

ほっとかへんネットあかしの金尾会長は、「新たな試みとして行政とともに実証できたことは今後の活動につながる。引き続き、住民の悩みや困りごとに応えられるよう取り組みたい」と話す。

ほっとかへんネットあかしでは、移動支援のほかにも、災害時における職員派遣などの体制の構築、被災地支援のための義援金活動の展開など、各種の活動を通じて社会福祉法人のネットワークを強め合いながら地域に根差した公益的な活動を展開している。

一丸となって街頭募金を実施。多くの施設職員が参加する



ほっとかへんネットあかし  
事務局：社会福祉法人明石市社会福祉協議会  
TEL：078-924-9105  
URL：<http://hottokahen-akashi.com/>

# キラリ★社会福祉法人☆

小野市社会福祉法人連絡協議会  
(ほっとかへんネットおの)

買い物バスツアー  
～専門職の付き添いで  
安全・安心に～

## 住民のニーズから出発した買い物バスツアー

小野市では、市内全ての社会福祉法人が連携し、平成29年6月に「ほっとかへんネットおの」を設立。「無理なくできることから」をモットーに、20の法人が各地で活動しています。

今回は、高齢者への移動支援である「買い物バスツアー」と、その取り組みを始めた後の、市内の社会福祉法人の活躍を紹介します。



### 住民のニーズに法人の専門性で応える

小野市では、平成28年度に介護保険制度における生活支援体制整備事業の第1層(市全域)の協議体が設立された。以降、毎年1～2地区ずつ、第2層(概ね小学校区域)の協議体が立ち上がっており、その地区の社会福祉法人が、協議体の設立準備の段階から住民らと共に参画している。

よりよい協議会での  
熱心な話し合い



平成29年度に設立した「<sup>きし</sup>来住地区よりよい協議会」では、一つの取り組みとして地域の困りごとについての訪問調査を行った。その結果、高齢者の買い物、特に移動手段へのニーズが明らかになったことから、「買い物バスツアー」を試行的に実施。その振り返り会議では、乗降や買い物での介助が必要な住民が多く、自治会役員や民生委員・児童委員だけでは対応が難しいという課題が共有された。「介護の専門性がある社会福祉法人の職員が付き添ってくれたら」という住民の期待に応えようと、職員が「買い物バスツアー」への付き添いを開始。今では月1回のツ

アーに介護職員などが同乗するようになり、住民と社会福祉法人が協働で実施するバスツアーが来住地区に定着している。

### 地域に出ることで法人内の雰囲気も変化

ほっとかへんネットおのの廣田美智子代表(社会福祉法人栄宏福祉会)は、「ほっとかへんネットが立ちあがるまでは、出前講座やお祭りなどを法人単独で実施していたが、これでいいのかという気持ちがあった。今は、私たちの専門性が求められて地域に出ているため、職員は非常にやりがいを感じている」と語る。他の職員も影響を受けることで法人内の雰囲気も変化し、本来業務の質も向上しているという。

また、高齢、障害、児童などの種別を超えた横のつながりができたことも、ほっとかへんネットの設立が地域にもたらした変化だ。このことについて、廣田代表は「呼びかけてくれた社協の存在が大きい。社協は地域になくてはならない“まとめ役・つなぎ役”」と社協が果たした役割を振り返る。さらに、「今は住民が自分の住む地区の社会福祉法人の存在を認識してくださっている。今後は『ほっとかへんネットおの』をさらに知ってもらうため、広報にも力を入れたい」と、地域と共に歩んでいく今後の展望を力強く語った。

ほっとかへんネットおの  
事務局：社会福祉法人小野市社会福祉協議会  
TEL：0794-63-2575

# キラリ★社会福祉法人☆

加西市社会福祉法人連絡協議会  
(ほっとかへんネット加西)

災害時の対応について  
議論を交わす参加者ら  
～図上訓練の様子～

## 災害時における福祉ネットワークの構築

加西市内14の社会福祉法人が連携し、平成29年10月に設立された「ほっとかへんネット加西」は、乳幼児から高齢者、障害者などすべての人たちが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

今回は、住民の拠り所となるべく進める、数ある取り組みから「災害時における福祉ネットワークの構築」に焦点を当てて紹介します。



### 施設間で支え合う「災害時相互応援協定」

近年、各地で地震や豪雨などの自然災害が相次いでいる。ほっとかへんネット加西では、「発災時に各福祉施設が、サービスの利用者や地域住民の拠り所となれるよう支援体制を整える」ため、平成30年度に支援体制づくりに取り組み始めた。

まず、発災直後は行政や公的機関からの支援が届きにくいという認識のもと、施設間相互の応援・協力体制の構築に着手。市内の福祉施設が浸水したことを想定した演習や災害の図上訓練を実施し、どのような応援・協力ができるのか話し合いを重ねた。

その結果、利用者の一時受け入れや職員の派遣、物資の提供など、利用者の安全確保と施設の安定的な運営について施設間で支え合う「災害時相互応援協定」として取りまとめ、平成31年3月に締結した。

また、市役所と協力して福祉避難所設置訓練や段ボールベッドの組み立て訓練を行うなど、福祉的支援が必要な住民の受け入れを想定した取り組みも進めている。

### 共有しやすい防災マニュアルづくり

前述の「応援協定」に基づき、災害時に応援する場合、される場合ともに、施設ごとに防災マニュアルの内容が大きく異なっているのはスムーズな支援につながらない。そこで、ほっとかへんネット加西では4つのカテゴリ(高齢者入所施設、保育施設、障害者施設、在宅・通所施設)に分けて、ほぼ統一した内容の防災マニュアルの作成を進め、今後の活用を目指している。

### 〈防災マニュアル 項目の一例〉

目的、想定される被害、施設の災害対応組織、緊急時の連絡体制及び参集基準、関係機関や地域との連携 など

ほっとかへんネット加西の蓬莱会長は、「災害時の体制づくりは、社会福祉法人が力を合わせて重層的に取り組むことで利用者や地域住民の安心・安全につながる。今後も、防災をはじめ、地域における様々な公益的な取り組みを行い、住民の安心の拠り所として、ほっとかへんネットが市の地域福祉計画に位置付けられるよう働きかけたい」と思いを語った。

段ボールベッドの組み立て方法、  
使い方を学ぶ



ほっとかへんネット加西  
事務局：社会福祉法人加西市社会福祉協議会  
TEL：0790-42-8888

# キラリ★社会福祉法人☆

神戸市垂水区社会福祉法人連絡協議会  
(ほっとかへんネットたるみ)

高齢者のふれあい喫茶で話を聞く法人職員。何気ない話の中に困りごとが潜んでいることもある

## 福祉なんでも相談

垂水区内32の社会福祉法人が協働し、災害復興住宅支援や子どもの居場所づくりなど、さまざまな活動を行う「ほっとかへんネットたるみ」。

今回は、平成30年6月にスタートした「福祉なんでも相談」について紹介します。(今月号と次月号は、社会福祉法人連絡協議会※の活動を取り上げます)



### はじめは地域住民の声を聴くことから

ほっとかへんネットたるみは、社会福祉法人の職員が、高齢、障害や児童といった分野にとらわれず、ソーシャルワークのスキルをもって地域の困りごとに対応することを目的に平成27年3月に設立された。

地域のニーズを知るため、ふれあいのまちづくり協議会の協力を得て約500世帯にアンケートを実施したところ、ひとり暮らし高齢者やシングルマザーから「誰にも相談できない」「頼る人がいなくて不安」といった声が多く寄せられた。

これを受け、社会福祉法人の強みを生かした取り組みを検討し、地域に専門職が出向く「福祉なんでも相談」を実施することにした。

### 高齢者のふれあい喫茶に相談員を派遣

平成30年6月から月1回、地域の高齢者のふれあい喫茶で「福祉なんでも相談」をスタートした。高齢分野とその他の分野の職員が一緒に訪問し、家族の介護や自宅にごみがあふれる住民の話など、日常会話の中から困りごとや悩みを聴いている。職員がその場で解決できなくても、制度や相談窓口を伝え、民生委員・児童委員や区社協に相談をつなげており、ごみの問題に悩む住民の訪問につながったこともある。

ふれあい喫茶の参加者からは、「自分から相談に行くのは敷居が高いけれど、福祉の専門職の人が話を聞いてくれるのは、安心感があり嬉しい」といった声が寄せられている。

### より地域に密着した活動を目指す

現在、「福祉なんでも相談」は1カ所でモデル的に取り組んでおり、今後は、区を複数のブロックに分け、より地域に密着した活動を目指していく。

ほっとかへんネットの活動に参画し、対人援助の技術を生かした実践を地域で展開することで、社会福祉法人の職員一人一人の意識が高まり、スキルアップや各法人の地域における公益的な取り組みの活性化につながる。

ほっとかへんネットたるみの代表・岸田氏(社会福祉法人すいせい)は、「誰一人取り残されない社会を実現するために福祉があります。法人同士のつながりと専門性を活用し、ソーシャルワークの原点に戻った活動をしたいと考えています」と今後の展望を語った。

「福祉なんでも相談窓口相談員研修」を実施し、相談援助のスキルを高めている



※ 社会福祉法人連絡協議会  
兵庫県では「ほっとかへん」を合言葉に、市区町域で社会福祉法人が協働して、地域の生活・福祉課題の解決に向けて取り組んでいる。

ほっとかへんネットたるみ  
事務局：社会福祉法人すいせい  
TEL：078-704-3340

## みんなで作る ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする  
取り組みを紹介します。



伊丹市内の社会福祉法人同士が協力して地域公益活動を推進する「伊丹市社会福祉法人連絡協議会(以下「連絡協議会」)」では、福祉の仕事の魅力を伝えるリーフレットを作成するんだって。地元の中学生・高校生にも、福祉の仕事を知ってもらって、福祉の仕事のイメージアップや福祉学習にもつなげていこうと考えているよ。

### 法人連携のアプローチ 「福祉人材の確保」

伊丹市では、平成20年度より市内の社会福祉法人が集まり、住民が抱える生活・福祉課題への対応や社会福祉法人の地域公益活動を推進する場づくりを進めている。現在は福祉現場で共通の課題となっている「福祉人材の確保」に向けて力を注いでいる。

「個々の社会福祉法人では解決が難しい共通の課題は、法人同士がつながってアプローチしていくことが重要」と、連絡協議会の河原さん(社会福祉法人明照会理事長)は語る。

### 福祉の仕事は、クリエイティブ

幅広い世代の人に福祉の仕事に就いてもらうための第一歩は、地域住民や子どもたちに興味や関心を持ってもらうことだ。福祉の仕事の魅力を共同発信するため、平成27年度から各法人の若手職員によるワーキングチームを結成し、リーフレットの作成を進めている。企画の場面では、福祉の仕事のイメージアップにつながるよう、福祉の職場で生き生きと働く魅力的な人たちの思いや趣味、プライベートに関

## 「福祉の仕事」の魅力を協働して発信!

～伊丹市社会福祉法人連絡協議会のチャレンジ～



7月のイベント、リーフレットの作成に向けてワーキングチームの議論にも熱が入ります!

するインタビュアーなどを盛り込むと多様なアイデアが飛び交う。

河原さんは、「子どもたちの将来の夢の中に、『福祉の仕事』が挙がってほしい。これからは社会福祉法人の取り組みが、地域を創る仕事の代表になるような『福祉の仕事』のブランド戦略を持つことが必要だ。特に地元で働きたい人に向けて、地域の安心・安全の一翼を担うクリエイティブな仕事として、福祉の仕事の魅力を発信していきたい」と意気込む。今後は、市内の中学校・高校との連携を強化するとともに、7月には大型ショッピングモールでのPRイベントなども予定している。

### 地域の生活・福祉課題に みんなを取り組む

これからの連絡協議会の展開に

ついて、事務局を担う伊丹市社会福祉協議会の白井地域福祉推進室長は、「生活困窮や災害時の支援、地域づくりといった地域の生活・福祉課題は、行政や自治会、民生委員・児童委員だけでなく、NPOや社会福祉法人なども一緒になってみんなで考えていく必要がある。社会福祉法人が協働して地域の公益活動を担うことができれば」と話す。連絡協議会の情報発信により、みんながつながり、地域福祉が一層推進できるようなネットワークづくりが期待される。

### 取材を終えて

伊丹市内の社会福祉法人は、今までも法人間のつながりを大切に活動してきました。高齢、障害、保育といった種別を越えて一致団結した社会福祉法人連絡協議会の新たな取り組みは、地域福祉のより一層の推進につながっています。

伊丹市社会福祉法人連絡協議会事務局  
伊丹市社会福祉協議会  
伊丹市広畑3-1 いたみいききプラザ2階  
TEL 072-779-8512

# 各市区町の 取り組みデータ

# 神戸市東灘区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット東灘)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	川村 基子 (社会福祉法人信愛学園 御影乳児院 院長)			
設立日	平成 28 年 3 月 11 日			
事務局 (部署)	神戸市東灘区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	34 法人	事業所数(全体)	101 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	8 法人	高齢	50 事業所
	障害	5 法人	障害	10 事業所
	保育	22 法人	保育	35 事業所
	その他	4 法人	その他	6 事業所
会員資格	本会の目的に賛同した神戸市東灘区に拠点を置く社会福祉法人及び神戸市東灘区に事業所を置く社会福祉法人とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす、種別を越えた社会福祉法人のネットワークとして、関係機関・団体と連携・協働を図り、地域福祉の推進に寄与する。			
役員体制	代表 1 名、副代表 3 名、監事 2 名			
組織構成	役員会、全体会、実務者会、事務局			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、全体会(年 1 回)、役員会(年 4 回)、実行委員会(年 3 回)			
会 費	【 有 】 ( 年 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	◎
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	○

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑩	うはらまつり(神戸まつり東灘区版)への出店による住民交流及び啓発活動。
⑬	東灘区を四つの地区に分け、それぞれの地区内に属する法人が種別を越えてそれぞれの地域貢献活動等についての情報交換を行うことで地区内の連携強化、福祉向上を図る。

# 神戸市灘区社会福祉法人等連絡協議会 (ほっとかへんネット灘)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	橋本 賢一 (社会福祉法人親愛会 理事長・園長)			
設立日	平成 29 年 2 月 8 日			
事務局 (部署)	神戸市灘区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	24 法人	事業所数(全体)	40 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	12 事業所
	障害	5 法人	障害	7 事業所
	保育	14 法人	保育	16 事業所
その他	5 法人	その他	5 事業所	
会員資格	区内に事業所がある法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	神戸市灘区内の社会福祉法人等(保育/高齢/障がい)がネットワークを組んで、灘区の子どもから高齢者まですべての方々が、安心して住みやすい生活が送れるように、福祉課題のニーズに応じた、幅広い福祉分野からの支援を目的に①総合的な相談活動②災害時の要援護者支援③社会福祉活動の啓発④地域の公益的な活動⑤生活課題への支援活動を展開している。			
役員体制	代表 1 名、副代表 4 名、監事 1 名 (顧問 2 名)			
組織構成	役員会、実務者会、ワーキング(4 部会)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 3 回)、実務者会(年 1 回)、部会(不定期)			
会 費	【 有 】 ( 10,000 円 ) 内、5,000 円は特別会費制度では対応できない支援に対しての経費として			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	◎
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	◎
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	総合的な相談活動(月1回) 小規模デイサービス休業日のカフェにて総合相談窓口を設置
⑤	制度で対応出来ないケースへの支援 例えば、ビザのないベトナム国籍女性が飛込出産、新生児への物品提供
⑪	年に1回 民生委員との交流研修会を開催 講師を招いて研修会あと、意見交換会実施

# 神戸市中央区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット中央)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	馬場 一郎 (社会福祉法人イエス団 賀川記念館 館長)			
設立日	平成 29 年 12 月 4 日			
事務局 (部署)	神戸市中央区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( Facebook/Twitter/Instagram (事務局区社会福祉協議会の中で発信) )			
	パンフレット【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	21 法人	事業所数(全体)	32 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	5 法人	高齢	8 事業所
	障害	2 法人	障害	3 事業所
	保育	13 法人	保育	16 事業所
	その他	5 法人	その他	5 事業所
会員資格	神戸市中央区内に事務所または事業所を置く社会福祉法人とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす神戸市中央区内の社会福祉法人のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、副代表 4 名、監事 1 名、会計 1 名			
組織構成				
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 3 回)、実務者全体会(年 4 回)、実務者研修会(2 回)、実務者グループ活動(4 グループ)その他イベントでの福祉相談や広報活動			
会 費	【 有 】 ( 1 法人 年額 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	◎
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	(令和元年度)コミュニケーションスキルアップ研修を開催し、その後、イベントでの福祉総合相談窓口を開設
⑨	(令和元年度)災害時における福祉ネットワークの構築について、ほっとかへんネット加西のとりくみについての研修会を開催。 地域の中学生や障害の施設等と「クロスロードゲーム」を活用した、防災シミュレーションを実施。
⑩	(令和2年度)保育園の子どもたちから、地域の高齢者に向けたメッセージのお届け (地域内の交流)

# 神戸市兵庫区社会福祉法人等連絡協議会 (ほっとかへんネット兵庫)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	金子 良史 (社会福祉法人 基督教日本救霊隊神戸実業学院 理事長)			
設立日	平成 28 年 3 月 14 日			
事務局 (部署)	神戸市兵庫区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	26 法人	事業所数(全体)	41 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	7 法人	高齢	10 事業所
	障害	6 法人	障害	15 事業所
	保育	9 法人	保育	10 事業所
その他	4 法人	その他	6 事業所	
会員資格	本会の目的に賛同した神戸市兵庫区に拠点を置く社会福祉法人、及び神戸市兵庫区に事業所を置く社会福祉法人等			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す神戸市 兵庫区内の社会福祉法人等のネットワークづくり、会員相互の情報交換や学習会、次条に掲げる事業を通して、地域福祉の推進に資することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、副代表 4 名			
組織構成	役員、事務局			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会、実務者会(年 3 回)			
会 費	【 有 】 ( 1 法人 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	◎
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	地域のお祭り等に臨時なんでも相談ブース出展、相談員研修の実施
⑤	継続して生活していくために緊急的に生活課題の改善が必要な世帯に対し、審査会で必要性が認められた場合、清掃・消毒などを実施する。
⑨	災害支援活動として、シンポジウム・HUG など福祉避難所研修を神戸市内の社会福祉法人を対象に神戸市より受託して開催。

# 神戸市北区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット KOBE・北)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	松端 信茂 (社会福祉法人陽気会 施設長)			
設立日	平成 29 年 4 月 17 日			
事務局 (部署)	神戸市北区社会福祉協議会 (地域支援課)			
情報発信	ホームページ 【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	41 法人	事業所数(全体)	98 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	13 法人	高齢	26 事業所
	障害	13 法人	障害	34 事業所
	保育	11 法人	保育	32 事業所
その他	4 法人	その他	6 事業所	
会員資格	協議会の目的に賛同した神戸市北区内に事務所または事業所を置く社会福祉法人等			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす神戸市北区内の社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、副代表 4 名、会計 1 名、監事 1 名(顧問 1 名)			
組織構成	役員会(その他地域課題等に応じてその都度実務者会を開催)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 3 回)、実務者会(年 3 回程度)			
会費	【 有 】 ( 1 法人 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。

また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	○
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	○
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	<福祉何でも相談> 分野を問わず、気軽に福祉に関する相談や情報収集ができる機会を提供するため、イベント等で総合相談窓口を開設。併せて「ほっとかへんネット」の啓発も行っている。
③	<移動支援> ・高齢者等の移手段の確保が課題となっている地域への支援を行うため実務者会を開催し、ネットワークづくりに取り組んでいる。 ・社協が実施している社協が実施しているひきこもり・不登校の人と家族の居場所ひきこもり・不登校の人と家族の居場所の開催場所からの開催場所から最寄り駅までの最寄り駅までの移動支援。移動支援。
⑤	<生活支援等> ・生活環境改善(ゴミ屋敷)の実施 ・触法者への支援に関する研修会の実施検討 ・ひきこもりの方に対し、就労等社会復帰につながるよう軽作業の提供
⑥	<コミュニティカフェ支援事業> 北区内のひとりぐらし高齢者や地域住民を対象としたふれあい給食会やふれあい喫茶を実施しているグループを対象に、施設の調理師・栄養士が技術支援(調理実習のメニュー作成、材料調達、講師)を行い、参加者との交流を図る。 <福祉出前講座> 地域住民のニーズに応じたテーマ・形式で 施設の職員が講師として 講座を開催。
⑩	<地域行事支援> 地域住民が実施する交流行事等への支援を通じ、福祉コミュニティづくりの推進や地域住民との交流を図る。
⑪	<ネットワークづくり> 各地域課題や検討事項に沿った実務者会議の開催

## 長田区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット長田)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	浦辻 恵蔵 (社会福祉法人神戸新生福祉会 理事)			
設立日	平成 29 年 2 月 22 日			
事務局 (部署)	神戸市長田区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【有】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	26 法人	事業所数(全体)	33 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	7 法人	高齢	10 事業所
	障害	8 法人	障害	9 事業所
	保育	10 法人	保育	13 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	区内に事務所または事業所を置く社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	(1)他業種の情報を学ぶことによる職員の相談スキルアップ (2)具体的な事業を実施することによる連携強化 (3)社会福祉法人の地域公益活動についての地域への周知・啓発 (4)福祉課題に関する相談窓口の拡大			
役員体制	代表 1 名、副代表 3 名、監事 1 名、会計 1 名			
組織構成	役員会、実務者会(研修チーム、広報・イベントチーム、課題解決チーム)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 5 回)、実務者会(研修チーム年 4 回、広報・イベントチーム年 4 回、課題解決チーム年 2 回)、全体研修会(年 1 回)			
会費	【有】(5,000 円)			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	○
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	◎
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	ほっとかへんネット長田施設職員による福祉相談会を実施。炊き出し(豚汁)も行い、チラシを配布するなど、ほっとかへんネット長田の取組についても啓発する。
⑪	研修、広報・イベント、課題解決の3つの実務者チームに分かれて、今後の活動について具体的に話し合う。また、全体研修会や各施設の見学会を実施し、法人職員等の交流や各施設での取組実践などを共有し、今後の法人連絡協議会の活動に活かす。

# 神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット須磨)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	池上 勝義 (社会福祉法人あじさい会 理事長)			
設立日	平成 29 年 2 月 23 日			
事務局 (部署)	神戸市須磨区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【有】 URL: <a href="http://suma-shakyo.or.jp/cms/hottokahen/">http://suma-shakyo.or.jp/cms/hottokahen/</a>			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	29 法人	事業所数(全体)	55 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	10 法人	高齢	13 事業所
	障害	6 法人	障害	19 事業所
	保育	13 法人	保育	18 事業所
	その他	5 法人	その他	5 事業所
会員資格	須磨区内に事務所または事業所がある法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす神戸市須磨区内の社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、副代表 4 名、会計 1 名			
組織構成	役員会、実務者会、コア実務者会(役員施設の実務者)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	全体会(年 2 回)、役員会(年 6 回)、実務者会(年 6 回※予定)			
会費	【有】(1 法人 5,000 円)			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	○

# 神戸市垂水区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットたるみ)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	岸田 耕二 (社会福祉法人すいせい 理事長)			
設立日	平成 27 年			
事務局 (部署)	社会福祉法人すいせい/垂水区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS ( Facebook )			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	33 法人	事業所数(全体)	93 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	15 法人	高齢	28 事業所
	障害	6 法人	障害	23 事業所
	保育	14 法人	保育	38 事業所
	その他	3 法人	その他	4 事業所
会員資格	会の目的に賛同した神戸市垂水区に拠点を置く社会福祉法人及び神戸市垂水区に事業所を置く社会福祉法人等とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す神戸市垂水区内の社会福祉法人等のネットワークづくり、会員相互の情報交換や勉強会、次条に掲げる事業を通して、地域福祉の推進に資することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、役員 3 名			
組織構成	役員会、全体会、実務者会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	役員会(月 1 回)、全体会(総会含む)(年 3 回)、実務者会(年 3 回)			
会費	【有】( 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	◎
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	◎

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
②	ベルデ名谷住宅でふれあい喫茶を開催
⑬	中期活動計画を策定、小地域での取組みを計画中

# 神戸市西区社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへん KOBE・西)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	舟橋 博 (社会福祉法人報恩感謝会 あさひ保育園 園長)			
設立日	平成 28 年 3 月 14 日			
事務局 (部署)	神戸市西区社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS ( Facebook )			
	パンフレット【有】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	43 法人	事業所数(全体)	76 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	14 法人	高齢	22 事業所
	障害	6 法人	障害	19 事業所
	保育	20 法人	保育	33 事業所
その他	3 法人	その他	2 事業所	
会員資格	協議会の目的に賛同した神戸市西区内に事務所又は事業所を置く社会福祉法人とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	協議会は、地域社会への貢献をめざす神戸市西区内の社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	代表 1 名、副代表 3 名、監事 2 名			
組織構成	役員会、実務者会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 6 回)、実務者会(3 回)、実務者向け研修会(年 1 回)			
会費	【有】 ( 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	◎
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	○
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
②	地域団体がおこなっている子どもの居場所の趣旨に賛同し、サポートスタッフとして協力。実務者会を開催し、協力内容の検討後、当日スムーズにサポートが進めれるように取り組んだ。
⑦	健康福祉フェアに出展し、総合的な相談窓口の運営と販売ブースの運営 法人連協への理解を深めるためのパネル展示・チラシの配布等

# 尼崎市民間社会福祉施設連絡協議会

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	野村 カヤ子 (社会福祉法人樫の木会 理事長)			
設立日	昭和 59 年 6 月 26 日			
事務局 (部署)	尼崎市社会福祉協議会 (総務課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	46 法人	事業所数(全体)	64 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	7 事業所
	障害	6 法人	障害	9 事業所
	保育	37 法人	保育	47 事業所
その他	1 法人	その他	1 事業所	
会員資格	市内の民間社会福祉施設			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員相互の連携とネットワークを強化し、職員の育成を図る。</li> <li>・ 各法人、施設と地域がつながりを持てるよう支援する。</li> <li>・ 地域に根ざし、住民に身近で信頼される法人、施設となるよう支援する。</li> </ul>			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名、監事 2 名、理事 7 名			
組織構成	理事会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	理事会(年 2 回)			
会 費	【 有 】 ( 2,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	◎
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	◎
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
②	各施設でプルタブ収集運動を進め、子ども食堂支援への資金に充てる。
⑪	施設職員等の交流や合同研修会の実施

## 西宮市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット西宮)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	北嶋 勇志 (社会福祉法人緑峰会 理事長)			
設立日	令和元年 7 月 24 日			
事務局 (部署)	西宮市社会福祉協議会 (共生のまちづくり課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	28 法人	事業所数(全体)	90 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	8 法人	高齢	24 事業所
	障害	6 法人	障害	27 事業所
	保育	13 法人	保育	34 事業所
	その他	1 法人	その他	5 事業所
会員資格	・市内に事業所がある法人 ・1 法人会費 5,000 円を納入(令和 2 年度より)			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す社会福祉法人等のネットワークとして、関係機関・団体と連携を図りながら、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名、理事 3 名、監事 1 名			
組織構成	総会、役員会、理事会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	設立総会(年 1 回)、研修・情報交換会(1 回)、運営委員会/役員会(3 回) 令和 2 年度:役員会(2 回)、総会(1 回)			
会費	【 有 】 ( 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑪	参加法人同士のネットワークづくり、事例発表を含めた研修・情報交換

## 伊丹市社会福祉法人連絡協議会

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	川村 貴清 (伊丹市社会福祉協議会 会長)		
設立日	平成 20 年 9 月 19 日		
事務局 (部署)	伊丹市社会福祉協議会 (総務課)		
情報発信	ホームページ【無】		
	その他 SNS (無)		
	パンフレット【有】		
会員法人・事業所数	法人数(全体)	21 法人	事業所数(全体)
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり
	高齢	6 法人	高齢
	障害	6 法人	障害
	保育	11 法人	保育
	その他	3 法人	その他
会員資格	伊丹市内で事業を実施している法人		
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域福祉に関する情報や意見交換を行い、連携を図ることを目的とし、誰もが安心して幸せに暮らすことのできる地域社会づくりを推進する。		
役員体制	代表 1 名、副代表 1 名		
組織構成			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	年 2～3 回		
会費	【無】		

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

# 宝塚市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット宝塚)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	山田 精一 (社会福祉法人聖隷福祉事業団 宝塚せいいの里 総園長)			
設立日	平成 29 年 1 月 30 日			
事務局 (部署)	宝塚市社会福祉協議会 (企画人事課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	27 法人	事業所数(全体)	216 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	12 法人	高齢	104 事業所
	障害	6 法人	障害	53 事業所
	保育	18 法人	保育	50 事業所
	その他		その他	14 事業所
会員資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所がある法人</li> <li>・会員は法人単位とする。</li> </ul>			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	<p>(目的) 社会福祉法人等のネットワークを生かして、会員相互の情報交換を通じて、地域社会への貢献に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業) 事業の推進にあたっては、協議会が、多様な事業分野の協議体であることの特徴を生かした取組を目指す。</p> <p>(1)地域ニーズの把握や地域貢献に関する項目 (2)市民等に対する福祉の啓発や学習に関する項目 (3)会員の交流、研修会・研究会、事例検討等に関する項目 (4)福祉人材の確保に関する項目 (5)その他、協議会の目的達成に必要な事業</p>			
役員体制	代表 1 名、副代表 3 名、監事 2 名			
組織構成	運営委員会、分野別委員会(高齢部会・児童部会・障害部会)、テーマ部会(地域貢献活動部会、防災の取組み部会)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、運営委員会(月 1 回)、テーマ部会(月 1 回 ※) ※テーマ部会は令和2年度はコロナ禍のため現時点で未実施			
会 費	【 有 】 ( 1 法人 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	◎
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	◎

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑪	<p>令和2年度専門職向け地域福祉研修を法人連絡協議会・社会福祉協議会の共催とし、企画会議の時点から各地区の法人の参画を得ている。</p> <p>研修には学識経験者の講義の他、地域住民をゲストスピーカーとし、地域を基盤として、分野を超えた専門職の交流や住民との交流を図り、地域福祉について学ぶ機会とする。</p> <p>また、令和2年度は、コロナ禍の影響により部会の開催が出来ていないことから、関係性・モチベーションの維持のために、オンライン会議が出来るよう「オンライン会議体験会」を計画している。</p>
⑬	<p>2つのテーマ部会を設け、各法人の実務者をメンバーとして下記活動を実施している。 (※ただし、令和2年度はコロナ禍のため活動休止中)</p> <p><b>【地域貢献部会】</b></p> <p>①市内の法人紹介パンフレットを1,000部作成した。(R2.11改訂) &lt;令和元年度の活動&gt;</p> <p>②市内3エリアに分けて、地域貢献活動通信を発行に向けて準備した。各地区の法人担当者の顔合わせ及び発行目的を共有し、チーム分けをおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民へ詳細な活動紹介</li> <li>・同地区内の法人連携の強化</li> <li>・更に進化した展開として、参加法人の関係が深まっていく中で、業種を超えた複数の法人が連携協力する事で、より地域ニーズに合った地域支援活動を推進していく。</li> </ul> <p>※2月以降、新型コロナウイルスの感染防止から部会活動が中止になり、通信発行に至っていない。</p> <p><b>【防災の取組み部会】(令和元年度の活動)</b></p> <p>①各事業所での防災活動の共有 防災活動の情報共有や施設の備品リストを作成し、災害時に法人間で貸借できることを検討。</p> <p>②防災研修会の企画・開催 地域防災の取組みにおける社会福祉法人の役割を検討し福祉避難所運営の職員研修を実施。テーマ「HUG(避難所運営ゲーム)」</p> <p>③他施設の防災訓練へ参加 部会メンバーが福祉避難所訓練へ参加しモデル的な取組み例を学んだ。</p>

川西市



## 川西市社会福祉法人連絡協議会

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	藤澤 真知子 (社会福祉法人友朋会 専務理事)			
設立日	平成 30 年 9 月 12 日			
事務局 (部署)	川西市社会福祉協議会 (企画・総務チーム)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	16 法人	事業所数(全体)	69 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	9 法人	高齢	45 事業所
	障害	3 法人	障害	10 事業所
	保育	8 法人	保育	8 事業所
	その他	1 法人	その他	6 事業所
会員資格	市内に事業所のある法人(法人単位)			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人のネットワークとして、会員相互の情報交換や連携を通じて、地域福祉の推進に寄与すること			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名、理事 2 名、監事 1 名			
組織構成	役員会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 5 回)			
会費	【 有 】 ( 年 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑦	市内の催しに参加し、相談ブースを設けるとともに、設立のPRを行いました。

## 三田市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットさんだ)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	岡本 征 (社会福祉法人光耀会 理事長)			
設立日	平成 29 年 7 月 14 日			
事務局 (部署)	三田市社会福祉協議会 (地域福祉課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	15 法人	事業所数(全体)	80 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	8 法人	高齢	35 事業所
	障害	5 法人	障害	38 事業所
	保育	6 法人	保育	
	その他		その他	7 事業所
会員資格	三田市内に事業所がある法人(法人本部は問わない)			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名、理事 4 名以内(うち、会計理事 1 名)、監事 1 名(市行政)			
組織構成	役員会、代表者会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(概ね月 1 回)、代表者会(概ね 3 か月ごと)			
会 費	【 有 】 ( 職員・従業員数 100 人未満 年額 5,000 円、 100 人以上 年額 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	◎
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	◎
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑥	・実務者レベルでの職員意見交換会
⑧	・ハローワークと連携し、ふくしのしごと説明会 ・ハローワークと連携し、合同面接・相談会 の開催

## 明石市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットあかし)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	金尾 良信 (社会福祉法人明桜会 大地の家 施設長)			
設立日	平成 29 年 5 月 23 日			
事務局 (部署)	明石市社会福祉協議会 (法人運営課)			
情報発信	ホームページ【有】 URL: <a href="http://hottokahen-akashi.com/">http://hottokahen-akashi.com/</a>			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【有】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	28 法人	事業所数(全体)	49 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	10 法人	高齢	18 事業所
	障害	4 法人	障害	14 事業所
	保育	14 法人	保育	16 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	明石市内に法人本部または施設のある社会福祉法人とし、会員は法人単位とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて明石市域の地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名、監事 1 名			
組織構成	役員会、地域公益・総合相談部会、広報・災害支援部会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、全体会(年 1 回)、役員会(年 3~4 回)、部会(年 3~4 回)			
会費	【有】 (法人規模により 10,000 or 6,000 or 3,000 円)			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	○
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	○

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属法人で災害等による物資等の不足が出た場合は、法人間で融通する。</li> <li>・県内において災害が発生した場合には、法人間で調整の上で職員派遣・物資の融通等を実施する。</li> <li>・他地域において災害が発生した時には、義援金活動(施設内募金箱設置、街頭募金)を実践する。</li> <li>・保健所より講師を招聘し、コロナ対策の研修会を実施。</li> </ul>

## 加古川市社会福祉法人連絡協議会

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	渋谷 哲 (社会福祉法人はりま福祉会 理事長)			
設立日	令和元年 7 月 24 日			
事務局 (部署)	加古川市社会福祉協議会 (地域福祉推進課 地域福祉推進係)			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	41 法人	事業所数(全体)	142 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	15 法人	高齢	97 事業所
	障害	6 法人	障害	18 事業所
	保育	17 法人	保育	23 事業所
	その他	3 法人	その他	5 事業所
会員資格	協議会の目的に賛同する社会福祉法人の代表者で、加古川市内で事業を実施しているもの			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	社会福祉法の理念に基づき、加古川市内の社会福祉法人相互の情報交換、交流等を行い、地域の生活・福祉課題の解決を図るとともに、連携と協働により社会貢献事業に取り組み、もって地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 3 名、会計 1 名、監事 3 名			
組織構成	総会の開催(年 1 回以上)、役員会の開催(随時)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	令和元年度 設立総会(1 回)、役員会(3 回) 令和2年度 総会(1 回)、役員会(4 回)			
会費	【有】 ( 1 法人につき年額 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	◎

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑬	<p>令和元年度(設立年度)の取組みとして、社会福祉法人連絡協議会の今後の方針を検討するため、令和2年2月29日に「理事長・施設長意見交換会」を実施する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染予防のため、開催中止となった。</p> <p>活動が実施できない状態が続き、加盟法人に、アンケートを実施し、コロナ対策への要望を確認する。令和2年10月8日第4回役員会にて、東播磨県民局、加古川健康福祉事務所に社会福祉法人へのコロナ対策の支援内容を確認して、加盟法人に書面にて報告する。</p>

## 西脇市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット西脇)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	伊達 恵一 (社会福祉法人かすぎ野 理事長)			
設立日	平成 31 年 2 月 8 日			
事務局 (部署)	西脇市社会福祉協議会 (地域福祉課総務担当)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	13 法人	事業所数(全体)	14 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	4 法人	高齢	5 事業所
	障害		障害	
	保育	8 法人	保育	8 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	本市内に法人本部がある法人、事業所がある法人、会員は法人単位とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の組織化を図る。</li> <li>・各法人の専門性を活かし、住民と共に地域課題を解決するため、連携して地域公益活動に取り組むことで、住みやすい安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与する。</li> </ul>			
役員体制	代表 1 名、副代表 1 名、監事 2 名			
組織構成	規約上は分科会等を置くことができる旨規定しているが、現在のところ設置していない。			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、全体会(年 1 回)、実務担当者会議(年 2 回)			
会 費	【 有 】 ( 年会費 1 法人 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	○
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
②	ひとり暮らし高齢者会食会へこども園園児が参加しお遊戯等披露及び特別養護老人ホームに併設されている在宅介護支援センター職員が出役、対象者との繋がりづくりを実施してもらった。
⑩	ボランティア活動の啓発・情報提供を行うため開催された「いきいきふれ愛まつり」に参画し、法人連絡協議会が購入したガチャガチャマシンで共同募金によるイベント募金を行った。
⑪	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者会議、実務担当者会議等の開催</li> <li>認定こども園や特別養護老人ホーム管理栄養士によるレシピ集作成検討</li> </ul>

## 高砂市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットたかさご)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	田水 每子 (社会福祉法人常寿会 理事長)			
設立日	令和 2 年 1 月 31 日			
事務局 (部署)	高砂市社会福祉協議会 (総務課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	20 法人	事業所数(全体)	
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	
	障害	5 法人	障害	
	保育	9 法人	保育	
	その他	1 法人	その他	
会員資格	協議会の目的に賛同した高砂市内に事務所又は施設を置く法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人等のネットワークを図るとともに、法人相互の連携を密にし、地域福祉の推進に寄与する。			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名、監事 1 名			
組織構成	役員会、必要に応じて部会を置くことができる			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(準備会)(年 3 回)			
会 費	【 有 】 ( 1 法人 年 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

## 小野市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットおの)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	廣田 美智子 (社会福祉法人栄宏福祉会 なごみの杜 名誉施設長)			
設立日	平成 29 年 6 月 7 日			
事務局 (部署)	小野市社会福祉協議会 (地域福祉課)			
情報発信	ホームページ【有】 URL: <a href="http://www.ono-shakyo.or.jp/p/ono-shakyo/17/">http://www.ono-shakyo.or.jp/p/ono-shakyo/17/</a>			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【有】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	22 法人	事業所数(全体)	事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	事業所
	障害	1 法人	障害	事業所
	保育	14 法人	保育	事業所
	その他	1 法人	その他	事業所
会員資格	協議会の目的に賛同した小野市内に事務所を置く社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人等のネットワークを築き、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名			
組織構成	なし			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、連絡会(年 2 回)			
会費	【その他】 (必要に応じて会費・助成金・寄附金・その他の収入を充てる。)			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	◎
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
③	生活支援体制整備事業と連携し、地区で実施されている「買い物バスツアー」に地域住民と一緒に職員が添乗している。介助の方法や、介護の相談に乗っている。
③	生活支援体制整備事業と連携し、地区で実施されている「お弁当配達サービス」に協力している。地域のコミュニティレストランと、配達する地域の方々と繋いでいる。
⑦	地区福祉推進委員会が実施する独居高齢者の集いと連携し、分野ごとに参加している。主に、児童福祉では児童との交流、介護福祉では健康講話を実施している。

## 加西市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット加西)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	蓬萊 和裕 (社会福祉法人ゆたか会 理事長)			
設立日	平成 30 年 4 月 1 日			
事務局 (部署)	加西市社会福祉協議会 (地域支援室 総務担当)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	14 法人	事業所数(全体)	15 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	6 事業所
	障害	2 法人	障害	3 事業所
	保育	5 法人	保育	5 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	協議会の目的に賛同した加西市内に事務所や事業所を置く社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	加盟する社会福祉法人が提供する福祉サービスの質の向上を図ると共に、加西市ふるさと創造会議等小地域福祉活動と連携を図り、社会福祉法人がもつ様々な機能を生かし、乳幼児から高齢者・障がい者(児)など全ての人たちが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。			
役員体制	代表者 1 名、副会長 1 名、監事 1 名			
組織構成	事務局 必要に応じて部会や委員会を設置することができる。			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、全大会(年 1 回)、ワーキング会議(全体会や研修前の打合せ)			
会費	【 有 】 ( 12,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	◎
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑧	兵庫大学とコラボし、インターンシップの学生受け入れを実施。兵庫大学の授業計画に「加西市の観光・文化・福祉について」の講義時間を設けられた。その上で、学生を各施設で受け入れる。(今年度は、受け入れができず、全体で加西市の地域を理解してもらう企画となった。
⑨	先には、災害時を想定した要援護者支援に関する取組みにむけ、福祉避難所の設置等も実施する予定であるが、現在は、14 法人全てが各法人の防災マニュアル作成に向け今年度 4 回の研修を実施し完成を目指す。4 回目には、机上訓練を担当者で実施する予定。

## 加東市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットかとう)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	井上 雄紀 (社会福祉法人でんでん虫の会 でんでん虫の家 副理事長)			
設立日	平成 30 年 4 月 18 日			
事務局 (部署)	加東市社会福祉協議会 (総務課)			
情報発信	ホームページ【有】 URL: <a href="http://kato-shakyo.or.jp/index.php?aid=posts&amp;mid=hottokahennet">http://kato-shakyo.or.jp/index.php?aid=posts&amp;mid=hottokahennet</a>			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 ※チラシのみ 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	16 法人	事業所数(全体)	18 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	3 法人	高齢	3 事業所
	障害	2 法人	障害	2 事業所
	保育	10 法人	保育	12 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	市内に施設、事業所がある法人 会員は法人単位とする			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す社会福祉法人等のネットワークとして、会員相互の 情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名、監事 2 名			
組織構成	なし			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会 1 回 研修会 4 回 幹部会 1 回 イベント参加 1 回			
会費	【有】 ( 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑦	のぼり、チラシの作成、ホームページの作成・更新 加東市と社協で共催する「かとう福祉まつり」に参加し広報活動をした。
⑨	災害時に福祉施設として取るべき対応について実例をもとに学び、災害対策マニュアル作成に向けた研修を実施している。

## 播磨町社会福祉法人連絡会

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	—			
設立日	平成 29 年 9 月 1 日			
事務局 (部署)	播磨町社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】 URL: 播磨町社協のホームページに掲載 <a href="https://www.harima-wel.or.jp/union/">https://www.harima-wel.or.jp/union/</a>			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	7 法人	事業所数(全体)	7 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	2 法人	高齢	2 事業所
	障害	法人	障害	事業所
	保育	4 法人	保育	4 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	町内に事業所がある法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	播磨町の地域福祉の発展・充実を目指して、話し合いをしながら、社会福祉法人としてできること(地域公益活動・社会貢献活動)を模索し、一歩ずつ取り組んでいく。			
役員体制	—			
組織構成	—			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	連絡会(年 2 回)			
会費	【無】			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	◎
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑤	社会福祉法人連絡会で「お米一合応援プロジェクト」を今年度2回実施予定。 2週間のお米を寄付してもらう期間を設け、それぞれの施設で集める。期間終了後、社協事務局が回収し、集まったお米を3kgの米袋に仕分けをして、生活困窮者や支援団体に提供する。

## 姫路市社会福祉施設協議会

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	田藤 仁志 (社会福祉法人よい子の広場福祉会 書写ひまわりホーム 施設長)			
設立日	昭和 34 年 9 月 1 日(令和 2 年 4 月 1 日移行)			
事務局 (部署)	姫路市社会福祉協議会 (地域福祉課)			
情報発信	ホームページ【有】 URL: <a href="https://www.himeji-wel.or.jp/shisetsukyo/">https://www.himeji-wel.or.jp/shisetsukyo/</a>			
	その他 SNS ( Facebook )			
	パンフレット 【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	85 法人	事業所数(全体)	146 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢		高齢	
	障害		障害	
	保育		保育	
	その他		その他	
会員資格				
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	社会福祉推進のため姫路市内において社会福祉施設を設置する法人及び個人相互の連絡協調を図り、社会福祉事業の進展に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 3 名、理事 9 名、監事 2 名			
組織構成	理事会、総会、姫路西エリア交流会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	理事会(年 1 回:必要に応じて)、総会(年 1 回)、姫路西エリア交流会(令和元年度:6 回、令和 2 年度:未開催)			
会費	【有】 ( 6,000 円/年 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	○

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑦	年1回研修会を開催。著名な講師による講演に施設職員と市民が参加できるよう企画している。
⑬	会員相互間の連携を強化し、地域行事への協力。姫路西エリア交流会では、地域包括及び社会福祉施設による住民へのイベントを通じて、施設や事業の紹介を行った。

# 相生市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットあいおい)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	魚橋 哲夫 (社会福祉法人みどり福祉会 理事長)			
設立日	令和 2 年 11 月 27 日			
事務局 (部署)	相生市社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	8 法人	事業所数(全体)	27 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	15 事業所
	障害	2 法人	障害	6 事業所
	保育	3 法人	保育	6 事業所
	その他		その他	
会員資格	相生市内に事業所を置く社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す社会福祉法人のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名、監事 1 名			
組織構成	総会、実務担当者会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、実務者会議(不定期開催だが、年 4 回程度を予定)			
会費	【 有 】 ( 年会費 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

## 赤穂市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネットあこう)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	澁川 寿彦 (社会福祉法人春秋会 理事長)			
設立日	平成 30 年 11 月 14 日			
事務局 (部署)	赤穂市社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【有】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	10 法人	事業所数(全体)	47 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	5 法人	高齢	23 事業所
	障害	4 法人	障害	21 事業所
	保育	2 法人	保育	2 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	協議会の目的に賛同した、赤穂市内に事務所を置く社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄附することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 1 名、監事 1 名			
組織構成	総会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、情報交換会(年 2 回)、研修会(年 1 回)			
会費	【有】 ( 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑨	福祉避難所運営マニュアルを行政と一緒に作成

## 宍粟市社会福祉法人連絡協議会

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	会長代行 秋武 賢是 (宍粟市社会福祉協議会 会長)			
設立日	令和 2 年 3 月 23 日			
事務局 (部署)	宍粟市社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	18 法人	事業所数(全体)	23 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	8 事業所
	障害	4 法人	障害	7 事業所
	保育	8 法人	保育	8 事業所
	その他		その他	
会員資格				
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人等のネットワークを築き、法人相互の 情報交換を通じて、地域福祉の推進を図ることを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名、監事 1 名			
組織構成				
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	コロナ感染症拡大により未開催			
会 費	【 未定 】			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	



# たつの市社会福祉法人連絡協議会

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	西川 光明 (社会福祉法人円勝会 理事長)			
設立日	平成 30 年 5 月 10 日			
事務局 (部署)	たつの市社会福祉協議会 (総務企画課)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	27 法人	事業所数(全体)	73 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	8 法人	高齢	41 事業所
	障害	4 法人	障害	11 事業所
	保育	14 法人	保育	17 事業所
	その他	1 法人	その他	4 事業所
会員資格	法人単位 ※目的に賛同したたつの市内に所在する社会福祉法人(法人本部の有無不問)			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	たつの市内の社会福祉法人のネットワーク化を図り、各法人の専門性を活かし、住民と共に地域課題の解決のため、たつの市及び各福祉関係機関と連携して地域公益活動等に取り組むことで、住みやすい安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与することを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 3 名、監事 2 名			
組織構成	役員会(6 名)、幹事会(7 名)、顧問(1 名・市長)			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(年 1 回)、幹事会(年 2 回)			
会 費	【 有 】 ( 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	◎
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	気軽に来所いただける場として、法人の施設や事業所での相談支援を実施。
⑥	「～社会福祉法人ネットワーク～ふくしの学び講座」として、地域の皆様の依頼に応じて、法人職員が集まりに出向き又は施設・事業所にお迎えして、講座(体験・交流)を実施。
⑦	地域共生社会推進事業への協賛と参画。 (市民と行政等が連携し、市民が防災体験を通じて地域共生社会の在り方を学びイベント)

## 上郡町社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット上郡)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	岡田 雄二 (社会福祉法人勝心会 理事長)			
設立日	令和2年8月7日			
事務局(部署)	上郡町社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他SNS(無)			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	7 法人	事業所数(全体)	7 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	2 法人	高齢	2 事業所
	障害	1 法人	障害	1 事業所
	保育	2 法人	保育	2 事業所
	その他	2 法人	その他	2 事業所
会員資格	町内を住所地とする法人、会員は法人単位とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす町内法人のネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与する。			
役員体制	代表1名、副代表1名、監事1名			
組織構成	なし			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年1回)、実務担当者会議(年3回)			
会費	【有】(3,000円) 事業などにより会費を上回る分の経費については按分とする。			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	○
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	◎
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑤	町内のひとりぐらし高齢者(約 750 人)を対象に、コロナ禍のなかで少しでも安心していただくよう、抗菌布マスクならびに抗菌マスクケースを製作し配布する事業に賛同し、この製作に必要とした経費の負担を各法人で行った。

# 佐用町社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット・佐用)

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	塩尻 点 (社会福祉法人くすのき会 播磨園 施設長)			
設立日	平成 27 年 11 月 27 日			
事務局 (部署)	佐用町社会福祉協議会 (地域福祉課 地域福祉推進係)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	10 法人	事業所数(全体)	25 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	6 法人	高齢	8 事業所
	障害	5 法人	障害	15 事業所
	保育		保育	
	その他	2 法人	その他	2 事業所
会員資格	本会規約の目的に賛同した佐用町内に事業所を置く法人 等			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	種別を超えた相互の連携を図るとともに、社会福祉法人が持つ公共性と専門性を発揮しながら、地域福祉の推進に組織的かつ継続的に取り組むこと。			
役員体制	会長 1 名、副会長 3 名、監事 2 名			
組織構成	代表者会、実務者会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、代表者会義(年 3 回)、実務者会議(2 ヶ月に 1 回)			
会 費	【 有 】 ( 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	○
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
①	相談支援の研修を実施し、職員のスキルアップを図っている。
⑨	福祉避難所運営研修を行ない、災害時の要援護者支援に対応できるよう備えている。

## 豊岡市社会福祉法人連絡協議会

## ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	磯橋 孝行 (社会福祉法人北但社会福祉事業会 所長)			
設立日	平成 30 年 9 月 27 日			
事務局 (部署)	豊岡市社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【無】			
	その他 SNS (無)			
	パンフレット【無】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	23 法人	事業所数(全体)	25 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	12 法人	高齢	12 事業所
	障害	3 法人	障害	3 事業所
	保育	9 法人	保育	9 事業所
	その他	1 法人	その他	1 事業所
会員資格	会員は事業所単位とする。			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす社会福祉法人のネットワーク化を図り、各法人の専門性を活かしつつ、会員相互の連携・協働を通じて、地域福祉の推進に寄与する。			
役員体制	会長 1 名、副会長 2 名			
組織構成	正副会長会、中心メンバー会			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、正副会長会(年 5 回)、実務担当者会議(年 2 回)、中心メンバー会議(年 4 回)			
会費	【有】(5,000 円)			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑪	正副会長会、中心メンバー会議で今後の取組について検討している。

## 新温泉町社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット新温泉)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	堀本 章治 (社会福祉法人春来福祉会 施設長)		
設立日	平成 31 年 3 月 9 日		
事務局 (部署)	新温泉町社会福祉協議会		
情報発信	ホームページ【 無 】		
	その他 SNS ( 無 )		
	パンフレット 【 有 】		
会員法人・事業所数	法人数(全体)	4 法人	事業所数(全体)
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり
	高齢	3 法人	高齢
	障害	法人	障害
	保育	法人	保育
	その他	1 法人	その他
会員資格	町内に事務所または事業所を置く社会福祉法人、及び社会福祉事業を行う団体		
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす新温泉町内の社会福祉法人ネットワークとして、会員相互の情報交換を通じて、地域福祉の推進に寄与する。		
役員体制	代表 1 名、副代表 2 名、監事 1 名		
組織構成	なし		
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、全体会(年 4 回程度)		
会費	【 有 】 ( 5,000 円 )		

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	◎
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑦	講演会や体験会を企画、運営

## 丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット丹波ささやま)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	谷口 弘 (社会福祉法人丹南厚生会 やすらぎ園 施設長)			
設立日	平成 28 年 2 月 1 日			
事務局 (部署)	丹波篠山市社会福祉協議会 (事務局長)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 無 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	11 法人	事業所数(全体)	11 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	5 法人	高齢	5 事業所
	障害	2 法人	障害	2 事業所
	保育	2 法人	保育	2 事業所
	その他	2 法人	その他	2 事業所
会員資格	市内に、拠点を置く法人及び事業所を置く法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	市内の社会福祉法人が相互の連携を図るとともに、社会福祉法人が持つ公益性と専門性を発揮しながら、地域福祉の推進に組織的かつ継続的に取り組み、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を図ることを目的とする。			
役員体制	会長1名、副会長3名(職務委代理者1名、事務局1名、会計1名)監事2名 (高齢者福祉、児童福祉、障がい福祉、地域福祉の各分野から選出する。)			
組織構成	代表者会議、実務者会議			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年1回以上)、代表者会議(適宜)、実務者会議(適宜)			
会費	【 有 】 ( 1 法人 10,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	◎
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	○
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	◎
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	○
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	○
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
④	ささっこ食堂への送迎支援、若者の就労支援事業
⑧	介護士等福祉人材のイメージアップ戦略の検討

## 丹波市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット丹波)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	澤村 安由里 (社会福祉法人山路福祉会 施設長)			
設立日	平成 27 年 9 月 2 日			
事務局 (部署)	社会福祉法人丹波市社会福祉協議会 (本所)			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	18 法人	事業所数(全体)	79 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	7 法人	高齢	47 事業所
	障害	1 法人	障害	10 事業所
	保育	8 法人	保育	22 事業所
	その他	2 法人	その他	0 事業所
会員資格	市内に法人本部がある社会福祉法人及び市内に事業所がある社会福祉法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献を目指す丹波市内の社会福祉法人等のネットワークづくり、 会員相互の情報交換や勉強会支援活動などを通して地域福祉の推進に資する ことを目的とする。			
役員体制	会長 1 名、副会長 3 名、監事 2 名、顧問 1 名			
組織構成	役員会、実務者会議			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	総会(年 1 回)、役員会(必要に応じて)			
会 費	【 有 】 ( 年間 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	○
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	◎
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	○
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑧	丹波市、ハローワークと連携し、福祉人材確保のためのPR活動、合同面接の実施などを行っている。

## 南あわじ市社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット南あわじ)

### ■基本情報

代表者氏名 (所属法人名・役職)	岡本 和浩 (社会福祉法人淡路島福祉会 本部長)			
設立日	平成 26 年 9 月 12 日			
事務局 (部署)	南あわじ市社会福祉協議会			
情報発信	ホームページ【 無 】			
	その他 SNS ( 無 )			
	パンフレット 【 有 】			
会員法人・事業所数	法人数(全体)	11 法人	事業所数(全体)	30 事業所
	種別内訳※重複あり		種別内訳※重複あり	
	高齢	8 法人	高齢	17 事業所
	障害	3 法人	障害	8 事業所
	保育	3 法人	保育	5 事業所
	その他	3 法人	その他	3 事業所
会員資格	市内に事業所がある法人			
社会福祉法人連絡協議会 (ほっとかへんネット) の目的、方針等	地域社会への貢献をめざす南あわじ市内の社会福祉法人等の参画のもと、連絡協議会を設立するとともに、生活総合相談事業の実施と相談支援のネットワークの構築に向けた研修等に取り組むことにより、南あわじ市における地域(包括)ケアシステムの一翼として、地域福祉の推進に貢献することを目的として活動する。			
役員体制	代表 1 名 副代表 1 名 監事 1 名			
組織構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議</li> <li>・実務担当者会議(・広報活動と周知・災害時におけるしくみづくり・生活困窮者等への相談と支援・施設を活用した子どもへの支援)</li> </ul>			
会議等の開催状況 ※令和元年度時点	推進会議(年 2 回)、実務担当社会(年 6 回)			
会 費	【 有 】 ( 5,000 円 )			

## ■活動内容について

該当する実践区分に○を、また、特に重点的に行っている実践には◎を記載しています。  
また、◎がついている場合は、その具体的な内容を下欄に記載しています。

実践区分	該当欄
① 地域の要支援者に対する相談支援	◎
② 地域の要支援者に対する会食、配食、食材配達等の食生活の支援	
③ 地域の要支援者に対する移動・外出の支援	
④ 地域の要支援者に対する学習支援、就労支援、見守り支援	◎
⑤ 地域の要支援者に対する生活支援、緊急資金・物資の貸与・提供	◎
⑥ 福祉学習、ボランティア・福祉人材の育成に関する活動	○
⑦ 地域福祉推進に関する各種事業への参画、福祉啓発に関する活動	○
⑧ 福祉人材の確保に関する活動	○
⑨ 災害時を想定した要援護者支援に関する取組み	◎
⑩ 地域住民等との交流・意見交換の実施	
⑪ 地域の関係者とのネットワークづくり	○
⑫ 提言・意見具申の取組み	
⑬ その他(中長期計画の策定、地域ごとの取組みの検討 等)	◎

実践区分No.	重点的に行っている実践の具体的な内容
⑨	災害時におけるしくみづくり
①⑤	生活困窮者等への相談と支援
④	施設を活用した子どもへの支援
⑬	広報活動と周知



令和2年度  
兵庫県内社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット） 取り組みデータ集

---

発行 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通 2-1-1 兵庫県福祉センター内

TEL 078-242-4633

URL <https://www.hyogo-wel.or.jp/>

